

住民4万人の心をついに、幸せづくりを目指す

12月定例議会が12月3日から開かれ、立岡脩二市長と小林一征教育長が行政報告を行いました。要旨を紹介します。

市長部局

瀬戸内市になって、4年目を迎えました。わたしの役割は、本市の土台作りと鉄道で言えばレールを敷くことです。

われわれ瀬戸内市の目指すものは、「地方自治の究極の目的である住民の幸せづくり」です。そのために「みんな元気で仲良く」「豊かな自然と歴史を活かした交流と創造の都市」を合言葉に、土台づくりでは、市の総合計画をはじめ総合保健福祉計画など各部門の計画の策定を終え、現在景観計画、観光振興計画を策定中です。

また、レール敷きでは、旧町の制度や料金の統一も議会や市民の皆さんのご協力のもと、後

わずかになりました。

振り返ってみて何よりも大切なのは、まず約4万人の市民の心が、瀬戸内市民として一つになることだと思っています。

自治の精神である自助、共助、扶助、最近では公助ともいわれていますが、助け合いの心で旧3町の境界線を取り払い、苦楽



住民の幸せづくりを目指す瀬戸内市(本庁市民課)

を共にすることで、市民としての連帯感が生まれ、瀬戸内市を愛する郷土愛が生まれます。この郷土愛こそが、みんなの心一つにする力となります。4万人の心が一つになれば、どんな障壁も乗り越えることができるかと確信しています。中期財政計画の策定を終え、厳しい財政状況のもとではあります。改定の主な内容は、本年は公務員と民間の給与比較におい

人事院勧告に基づき給与などを改定

国の人事院勧告に基づき、本年の給与改定の準備をしています。改定の主な内容は、本年は公務員と民間の給与比較におい

して、差押物件である宅地と田の公売を行いました。11月26日の公売入札の結果は、2件とも最低公売価格以上の入札があり、合計2、186、600円の収入を確保することができました。

今後も公売までの要件が整い次第、順次滞納処分を行い市税収入の確保に努めます。

平成20年4月から新たな岡山県後期高齢者医療

後期高齢者医療制度では、これまで75歳(一定の障害がある人は65歳)以上の人で、国民健康保険や被用者保険(健康保険組合や共済組合など)に加入しながら「老人保健制度」で医療を受けていた人が、平成20年4月からは新たな独立した医療保険制度で医療を受けることとなります。

11月22日の岡山県後期高齢者医療広域連合臨時議会において、後期高齢者医療に関する条例が可決されました。

その中で、保険料率は、被保険者均等割額が43、500円、所得割率7・89パーセントに

決定しました。一人当たり保険料額は、単純平均で月額6、703円となります。なお、一人当たりの賦課限度額は50万円です。その他、詳細な内容については、順次広報紙などでお知らせする予定です。

基本健診に代わり、特定健診、特定保健指導始まる

近年、生活習慣病が増え続け、死因の約3分の2、医療費の約3分の1を占めています。こうした生活習慣病の増加やその医療費を食い止めるため、平成20年度から、各保険者に新たな健診が義務付けられます。

今までの「基本健診」に代わり、



来年度から基本健診に代わり、特定健診と特定保健指導が始まります

障害者総合在宅支援施設の整備に向け、準備を進める

障害者総合在宅支援施設は、平成20年7月の開所予定でした。しかし、建築基準法の改正で、建築確認事務が予想以上に混乱している状況の中で、現在、確認申請書を提出しています。今後、順調に推移すれば、20年3

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した「特定健診」と「特定保健指導」が始まります。

「特定健診」の対象者は、40歳から74歳の国民健康保険加入者全員です。

検査項目は、腹囲やコレステロール・血糖検査など、メタボリックシンドロームに的を絞ったものとなっています。

この健診を受けるメリットは、メタボリックシンドロームを早期に発見できること、実行しやすい生活習慣改善の目標が設定できること、継続して健康状態を把握できること、生活習慣病にかかる人全体の数が減れば、医療費の抑制ができることなどです。

市税滞納処分に関わる土地の公売で収入確保

岡山県市町村税整理組合の協力で、滞納税額の多い2人に対して、45月分から4・5月分に改定するものです。

月から工事に着手し、完成は9月、そして10月から開所の予定です。

特別養護老人ホームの建設

邑久町山田庄地内に、新たに特別養護老人ホームを建設したいというところで、県へ法人設立及び建設の申請が出されていた(仮称)社会福祉法人 敬裕会が、協調融資が受けられない状況になったため、社会福祉法人設立母体である(株)ベストコーポレーションより県に対し、今回は断念する旨の申し出が正式にありました。

市に対しても、今回に至った経緯説明と迷惑を掛けたことへの謝罪がありました。

市としては、今回のことに関し、非常に遺憾に思うところであり、議会、地元関係者、さら

